

# みんなねっとフォーラム 2012

## 新薬開発から10年、 本人・家族の生活は変わったのか

1950年代から使用されている抗精神病薬は、幻覚妄想といった陽性症状への効果はあるものの、副作用がひどく、服薬の中断や拒薬の原因のひとつにもなっていました。

その後、1996年より陽性症状だけでなく、陰性症状にも有効であり副作用も発現しにくいとされる、非定型抗精神病薬(新薬)が開発されました。当初より効果に期待が寄せられ、現在は第一選択薬にもなっています。

この新薬が使用されて10年。この間、薬の開発・改善によって、本人の病状や生活、また家族の生活は変わったのでしょうか。本フォーラムでは、新薬の効果、そこから回復(リカバリー)について考えていきたいと思ひます。

2013年  
3月1日(金) 10時から16時  
場 所: 津田ホール (JR千駄ヶ谷駅)  
参加費: 500円  
定 員: 500名

<午前の部 10:00 ~ 12:00 (9:30より受付)>

講演「現在の精神科医療の動向」

石郷岡 純 (東京女子医科大学教授・精神科医)

<午後の部 13:00 ~ 16:00>

シンポジウム「新薬で生活は変わったのか—回復のための検証—」

○シンポジスト: 西尾 正人 (鎌取メンタルクリニック 精神科医)

真庭 大典 (新阿武山病院 看護師)

家族の立場

本人の立場

○コーディネーター: 良田 かおり (全国精神保健福祉会連合会 事務局長)

主催・問合先: 公益社団法人 全国精神保健福祉会連合会(みんなねっと)  
tel 03-6907-9211 / fax 03-3987-5466 / <http://www.seishinhoken.jp>  
☎ 170-0013 東京都豊島区東池袋 1-46-13 ホリグチビル 602

○事前申し込みの必要はありません。当日直接会場にお越しください。なお立ち見ができませんので、定員に達した場合はモニターでの聴講になります。ご了承ください。  
○昼食は各自でご用意ください。また、ロビーにて物品販売(パン・お菓子など)をいたしませんのでご利用ください。